

〔研究テーマ〕

子どもたちにとって〈価値〉のある
話し合い活動とはどのようなものか

平成30年度 栃木市教育研究所〈授業づくり部会〉

〔研究員〕 佐藤 奈央子 (寺尾中)
富山 真理子 (大平中央小)
老沼 晃子 (部屋小)
野口 恭平 (南小)
和久井 達也 (藤岡第二中)

〔所員〕 金井 聡子 (栃木市教育委員会)
古橋 奈美 (栃木市教育委員会)

1. 研究テーマ設定の理由

2. 研究の実践

(1) 1年目…視点の設定

(2) 2年目…授業実践の蓄積

(3) 3年目…学習指導案の作成・研究授業

3. 研究のまとめ

研究テーマ設定の理由

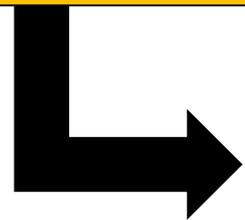
教師側が**見落としがち**な子どもの学びを深めるには、
どのような手立てやポイントがあるだろうか。

『見落としがち子ども』とは…

…**自力で課題には取り組むが学びが深まっていない、
教師側が見落としがち**な児童生徒のこと

研究テーマ設定の理由

子どもたち同士の関わりから学びを深める学習活動
= **話し合い活動**

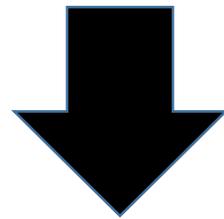


- ・ ・ ・ 〈学び〉につながる活動とは？
- ・ ・ ・ そもそも何のための話し合いなのか？

子どもたちにとって **〈価値〉のある話し合い活動**
とはどのようなものか、授業実践を通して明らかにする。

研究テーマ

児童・生徒の学び合いにつながる話し合い活動とはどのようなものか。



〈価値〉のある話し合い活動

〈価値〉のある話し合い活動とは…

- 1 児童生徒が話し合う意味があると感じる話し合い
- 2 学力の高低にかかわらず、児童生徒が対話する話し合い
- 3 児童生徒が多様な考えを主体的に出し合う話し合い
- 4 自分とは異なる意見も認め合える話し合い

〈価値〉のある話し合いをするためには…

- 話し合う課題やテーマの設定を工夫する
- 何のために話し合うのかという目的を明確にする
- 教師の発問の仕方を工夫する
- 児童生徒が自分の考えをもてるような工夫をする
- 児童生徒の気づきを生かせる工夫をする

四つの視点

- ① 実生活 と関連する話題を設定する
- ② 具体物 を効果的に活用して考えをまとめる
- ③ 考えを 視覚化 する
- ④ 話合いの 形態 (やり方) を工夫する

(ビデオリフレクションの詳細は栃木市教育研究所HPで公開予定)

テーマ「運動会の小中合同開催について」

佐藤 奈央子教諭（寺尾中）

盛り込んだ視点 ① **実生活** と関連する話題を設定する

- ・ 「運動会」をテーマに設定

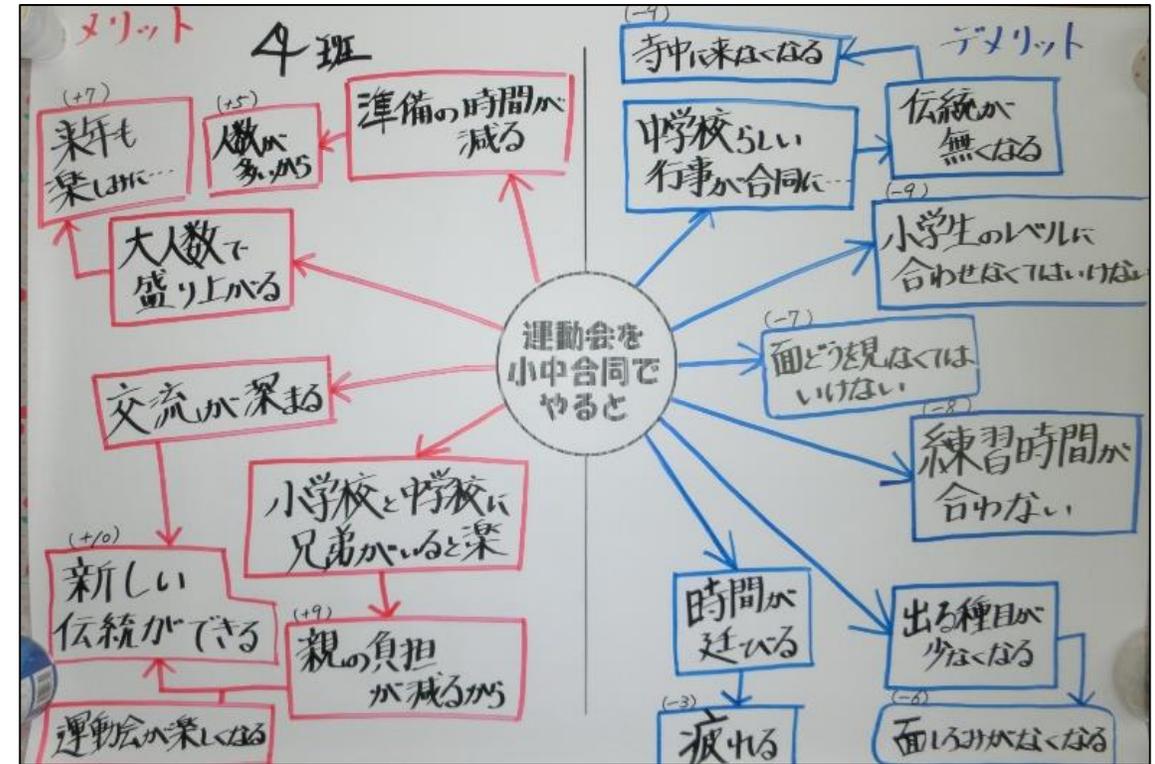


テーマ「運動会の小中合同開催について」

佐藤 奈央子教諭（寺尾中）

盛り込んだ視点 ③考えを**視覚化**する

- ・リンクマップの使用、模造紙の活用



テーマ「運動会の小中合同開催について」

佐藤 奈央子教諭（寺尾中）

盛り込んだ視点 ④話し合いの形態（やり方）を工夫する
・4人グループ



成果（4つの視点との関連）

- ① 実生活と関連する話題を設定する
→ 話合いが深まっていた
- ③ 考えを視覚化する
→ 意見がつながりやすくなった
- ④ 話合いの形態（やり方）を工夫する
→ 段階を踏むことでスムーズな話合いとなった

課題

メンバー構成の工夫の必要性

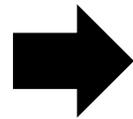
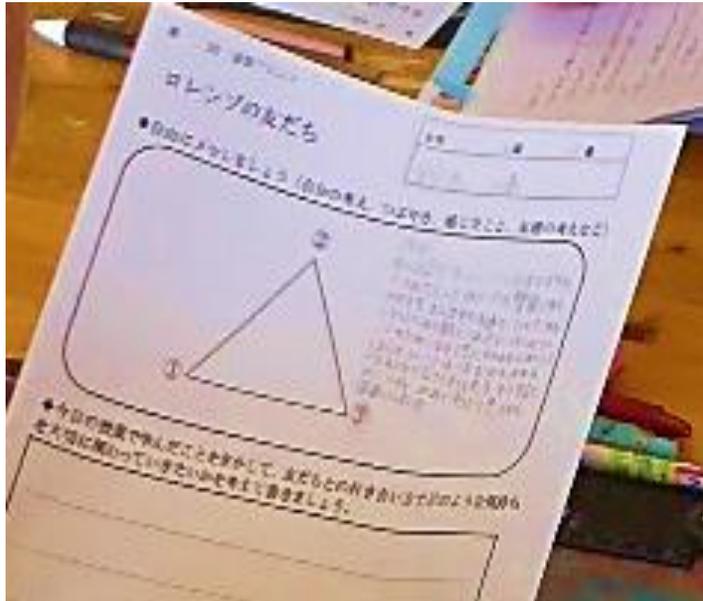
テーマ「真の友情とは何か」

富山 真理子教諭（大平中央小）

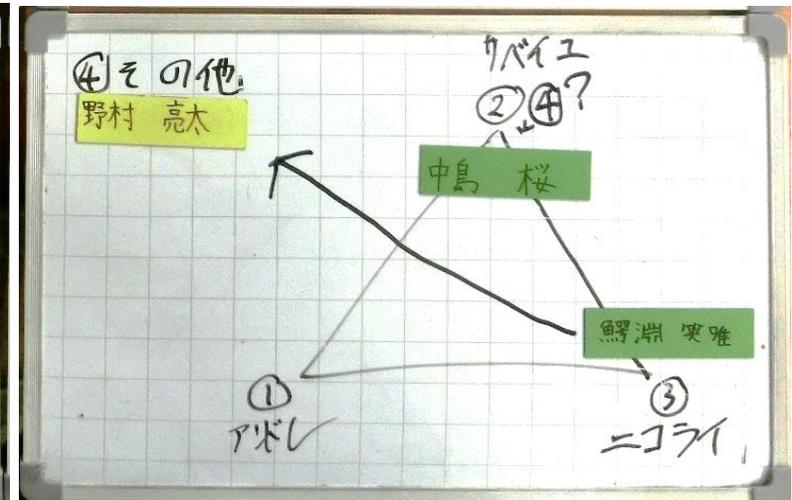
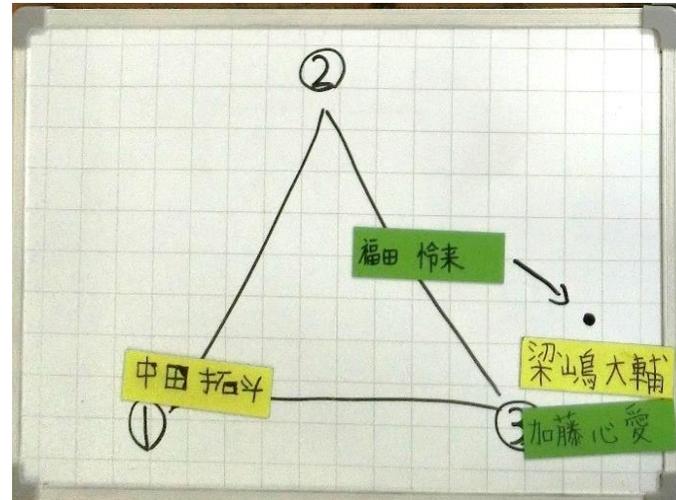
盛り込んだ視点

③考えを**視覚化**する

ワークシート



ホワイトボード



テーマ「真の友情とは何か」

富山 真理子教諭（大平中央小）

盛り込んだ視点

④話合いの形態の工夫

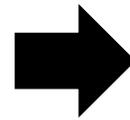
個人



班



全体



成果（4つの視点との関連）

③考えを視覚化する

→自主的に話し合う姿が見られた

④話合いの形態（やり方）を工夫する

→自分と異なる意見も認め合える雰囲気になった

→発表が苦手な児童が、進んで話合いに参加し
全体の前で発表できた

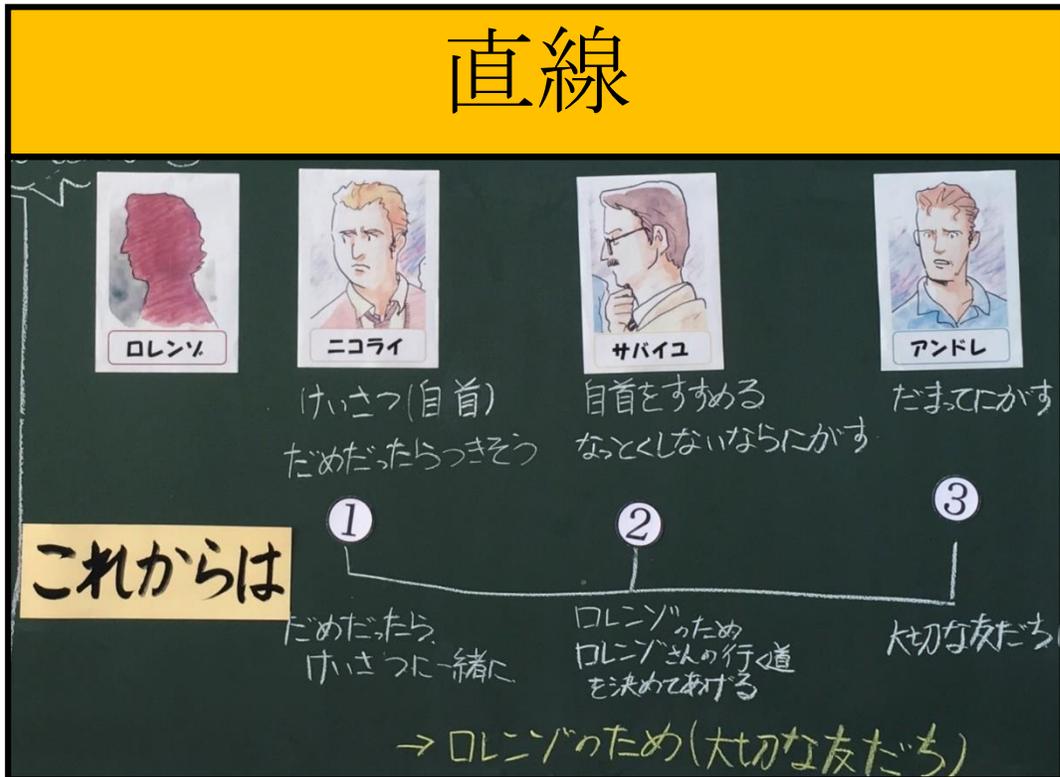
課題

板書の工夫の必要性

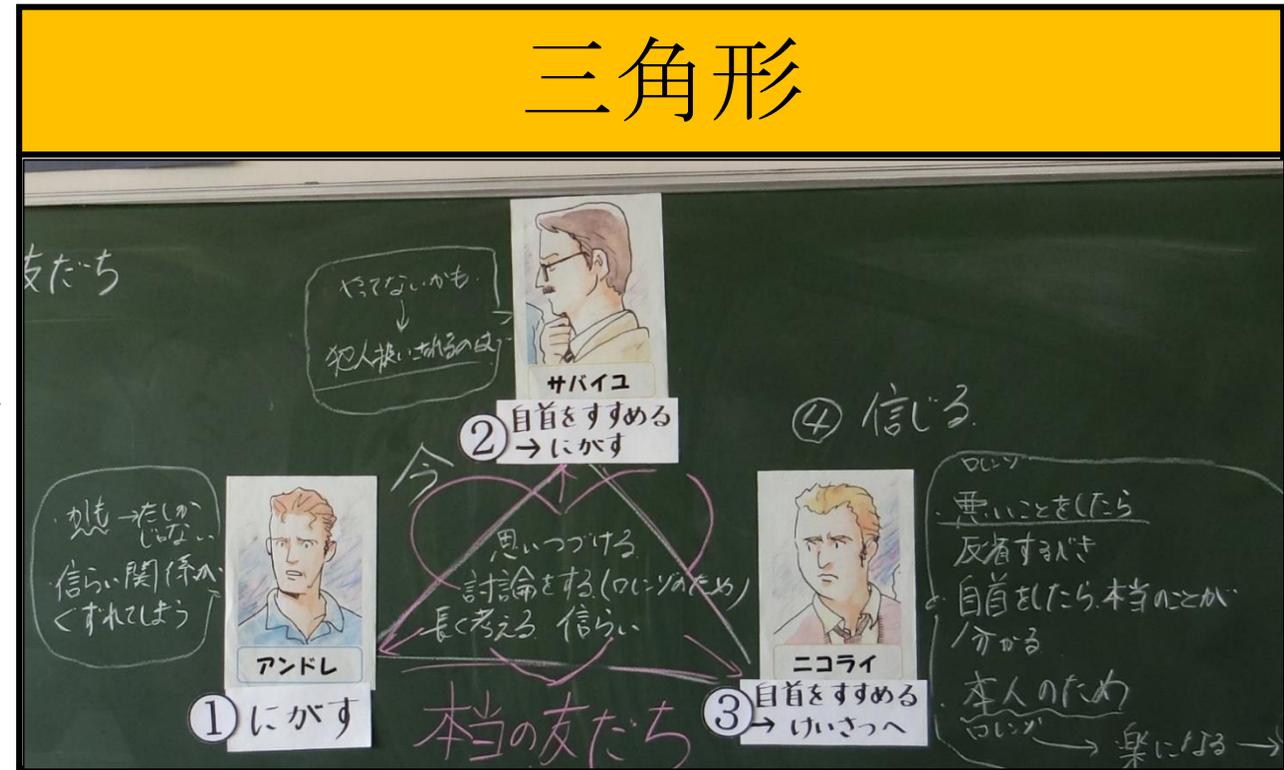
盛り込んだ視点

③考えを**視覚化**する

直線



三角形



成果（4つの視点との関連）

③考えを視覚化する

→自主的に話し合う姿が見られた

④話合いの形態（やり方）を工夫する

→自分と異なる意見も認め合える雰囲気になった

→発表が苦手な児童が、進んで話合いに参加し
全体の前で発表できた

課題

板書の工夫の必要性

成果

4つの視点の導入→話し合いの活性化

課題

- 話し合う**時間**の確保
- 話し合う**メンバー**の工夫
- 話し合いのときの**机間指導**の工夫
- 全体で話し合うときの**板書**の工夫

めあて「クライマックスの一文を見つけ、その一文を選んだ理由を書くことができる」

野口 恭平教諭 (南小)

盛り込んだ視点

① **実生活** と関連した話題の設定

・ 子どもからの感想、疑問を取り上げた授業展開

<p>みんなの感想・疑問</p>	<p>感想 (感じた事)</p>	<ul style="list-style-type: none">・ クライマックス場面は、「戦闘開始だ。」と言っていたから、7だけだと分かっていました。・ 最初はクライマックスに6と5も入れていたけど、読んでみたらちがうなと思って7にしてあったのでよかった。・ 戦闘シーン以外でもクライマックスはあるなと思いました。・ 大造じいさんの気持ちが分かってきた。・ 構造曲線プリントがなつかしかったです。・ はやく穴埋めしたいです。	<p>疑問 (知りたいこと)</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 時と場から、(場面分けの) 答えを見つけることができるんですか。・ 結構久々で難しいです。百二十九ページ…「残雪はほほ白い」、百三十ページ…「残雪茶色」なんで？・ どうして残雪と呼ばれているのと(他の鳥を) 見分けられるのか気になりました。
------------------	-------------------------	--	---------------------------	--

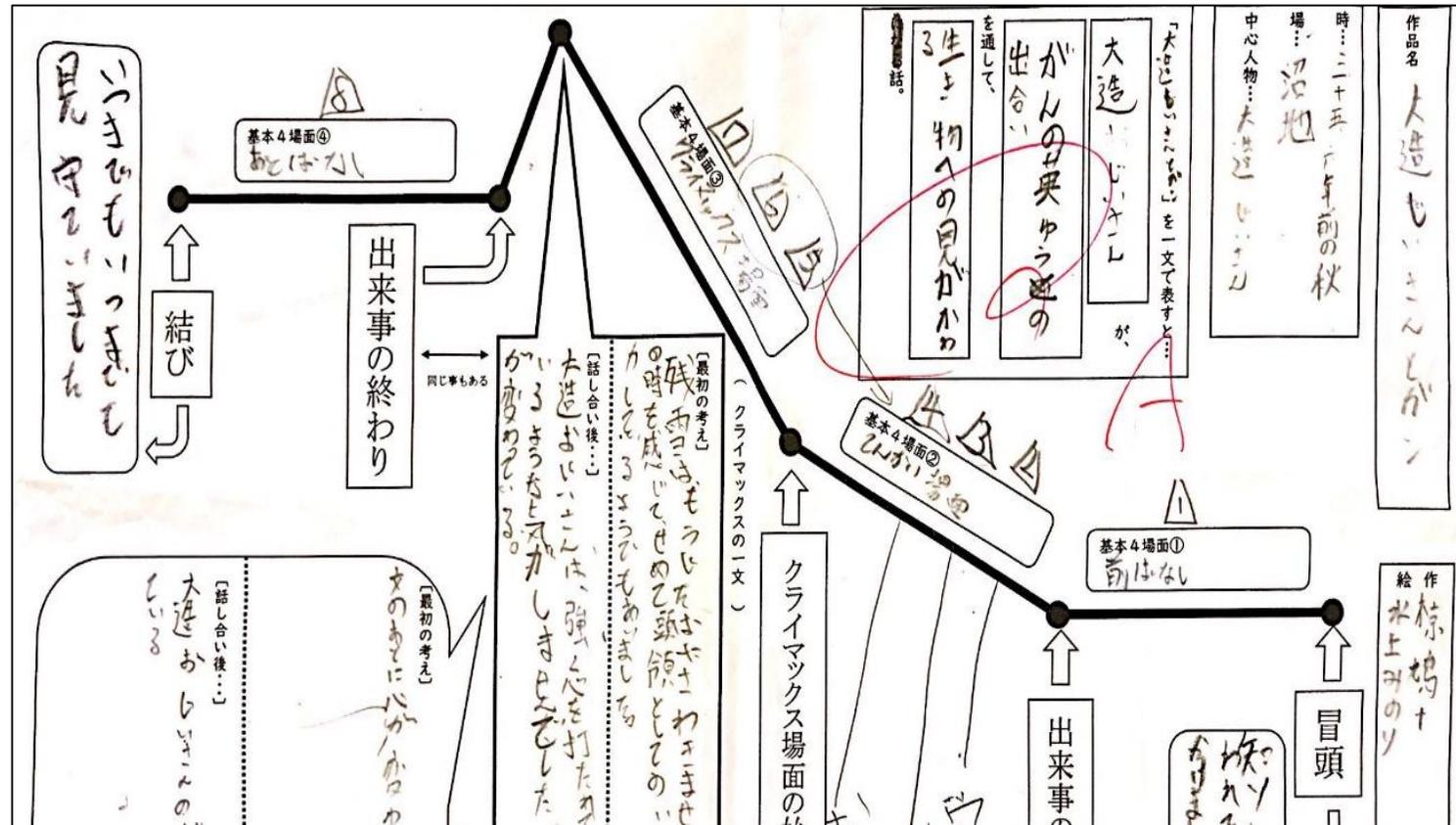
めあて「クライマックスの一文を見つけ、その一文を選んだ理由を書くことができる」

野口 恭平教諭 (南小)

盛り込んだ視点

③考えを**視覚化**する

・心情曲線の活用



めあて「クライマックスの一文を見つけ、その一文を選んだ理由を書くことができる」

野口 恭平教諭（南小）

盛り込んだ視点

④話合い形態の工夫

- ・形態にとらわれない話合い活動



成果

課題

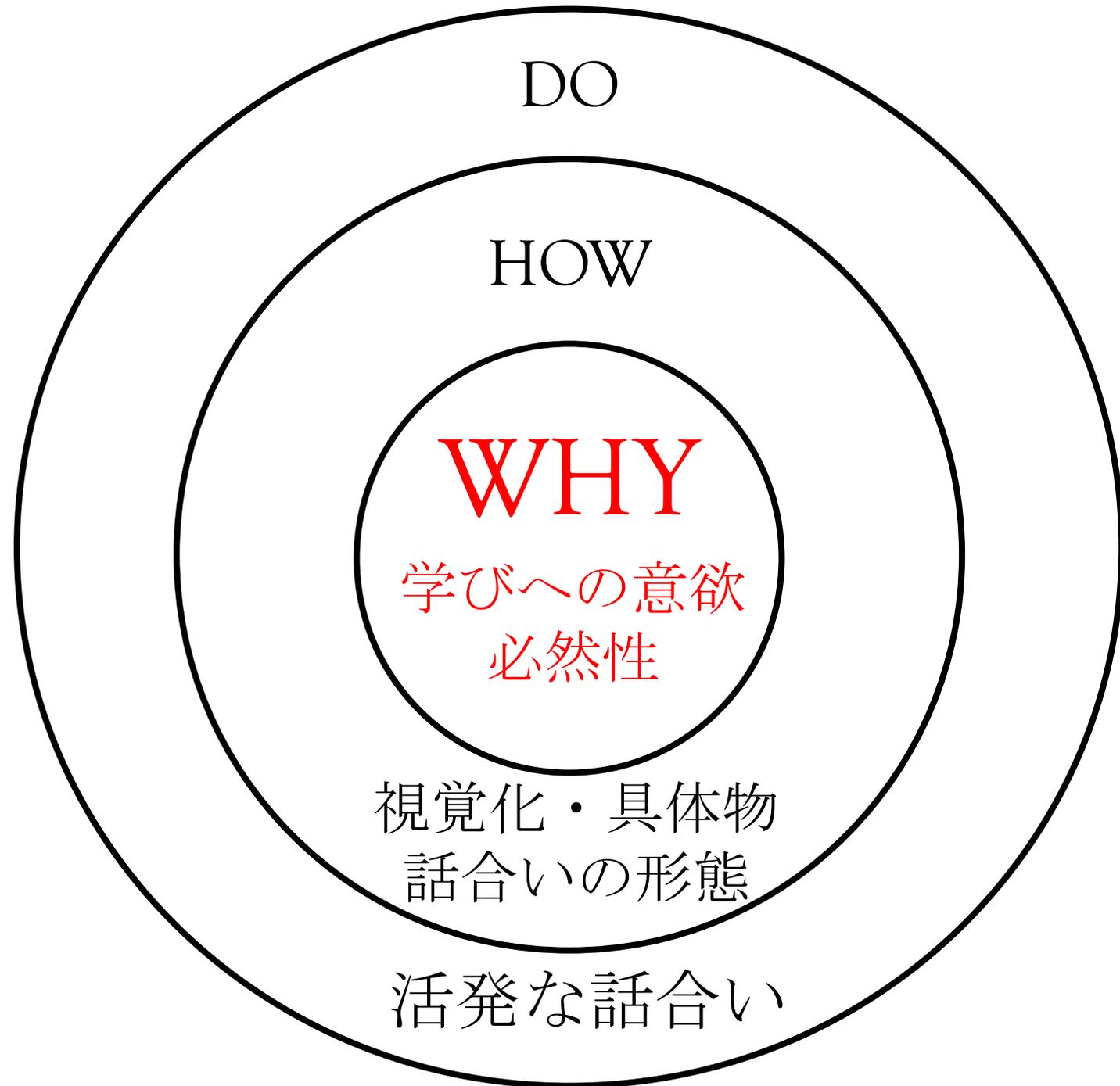
成果（4つの視点との関連）

- ① 実生活と関連する話題を設定する
→主体的に取り組むようになった
- ③ 考えを視覚化する
→どの児童も考えを持つことができた
- ④ 話合いの形態（やり方）を工夫する
→学力の高低にかかわらず、話し合っていた

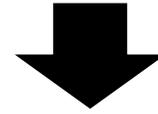
課題

話し合うフレーム設定の重要性

研究のまとめ



教師側が**見落としがち**な子どもの学びを深めるには…



四つの視点

- ① **実生活**と関連する話題を設定する
- ② **具体物**を効果的に活用して考えをまとめる
- ③ 考えを**視覚化**する
- ④ 話合いの**形態(やり方)**を工夫する



全ての子どもたちが学び合う姿

ご清聴ありがとうございました。